

時事新報

向背如何の問題に至ては我輩今故さらにして之を言はざる  
も從前の行挙よりして國民一般の感情に訴へ又實際  
の利害に問ふて讀者の方す自から定まる可し唯此點  
に我國の最も必要とする所は即ち兵備の擴張にして  
就中軍艦の製造は目下の最大急務なり我國民は須らく  
一心不亂に國富を増し國力を貯へ以て他日の大功名を  
期すべき者なり

時各大臣とお意外の邊より任命あるならんと云ふ  
軍隊派兵を曉ねて辭職するとの事  
軍隊派の禹德善劉世南氏等以下の人々は到底同謀中  
り大臣の任命あるまじと推測して三四の人々は一同桂  
を懇ねて辭職する事に決し今明日中に辭表を奉呈する  
なるならんと云ふ  
宮内官制の發布

ば此夢幻の覺醒したる  
なり

○朝鮮國大君主の  
威謝狀

朝鮮國大君主の  
感謝狀

今般芝罘に於て批准交換済となりたる日清媾和條約由  
朝鮮國の獨立自主を認明せしめ起る件に關し同國大君主  
より我天皇陛下へ感謝の意と轉達すべく旨勅語を奏  
じたる趣を以て左記の如く同國外部大臣より同國駐劄  
井上特命全權公使へ熙會ありたりと云ふ

大朝鮮外部大臣金爲熙會事、茲者、面奉我

に變化せしやを推測するに足る  
鐵業條例の制定

王妃等の政治社會界に於ては、  
に他方於ては大君主には斯る權利ありて、  
以下百官諸臣僚は、  
僚に對して斯る權利を  
知し且つ遵奉するにあ  
き旨を述べたの井上伯  
士は概ね權限論に關す  
所然りとし諸大臣以下  
の文書直译、古事記文

○京城特報

五月三十一日 小原信吉  
朴内閣の組織如何  
朴泳孝は朴内閣の責任者として黒幕總理大臣となるべく而して大臣等は朴内閣の骨子として其僅異動なかるべく其他の度支、外部、軍部、内部の椅子は果して何人の掌中には歸すべきや自稱候補者多きも殆ど星の如し然れども其内呼び聲の最も高き人々は

然るに今回の騒動に就て朴を非難するもの頗る多く、世間の同情大半金總理に歸した點を見て自ら總理の権子を占むるの不利益なると想ふ當分黒幕總理たらんとを看みの意と生じなりき而して其探り人形となるべき人は如何試に指を屈すれば或は屬に失し或は貢目の輕きに失す御り事実大臣朴定蔭近來漸く金總理振舞を脱し高事を本尊は據りて事を爲さんとするの傾きあるが故に世間よりは全く少壯黨中の人と化丁せしものとは思はれず且つ其門閥と云ひ經歴と云ひ是が大臣の上に據し其財産も亦大臣中に冠たれとの噂さむ。

大君主の大君主たる所  
々との解説を持ち出  
は漸く之を實にしたる  
に成れる堤防は朴等の  
濫する一洪水は即ち朴  
樹取水も

内部大臣候補	閔泳達、劉世南、閔泳煥
軍部大臣候補	李尹用、權在衡、禹範善
度部大臣候補	閔泳達、閔泳煥、安弼壽
外部大臣候補	李完用
宮内大臣候補	李灝純

殊に其性質たる最も操りに難しなるを以て遂に之を推撰するみとて決し昨晩の内閣會議にて發言したる演説一聲一言の異論もなくして總理に推戴するみるとやはり先決議を開きて世間の鬱憤を惹き起したる比勿體無事、自身より夢幻の感わらしなるべし而して此ゆの一日も長からんみとて留むものなり何んどなれ

の威を起する。之に既に  
權真春、洪鑑等  
故金玉苑部下の人々及  
東蕃及び洪鑑等は全  
道に轟と置く。由是なく  
ならず日本へ歸る。之は